

津久井湖のはたらきのために

津久井湖がその役割を果たし、神奈川県の発展と県民生活に貢献するために、昼夜問わず職員による管理が行われています。

城山ダムのダム管理

相模川水系ダム管理事務所では、相模川水系の神奈川県が管理するダム、貯水池及びダム関連施設の監視、操作、維持管理及び水運用にかかわる業務を行っています。ダム監視は職員が情報監視室に常駐し、24時間体制で対応しています。

● 出水・洪水対応

ダム上流域に降雨があると、雨量観測所で相模川水系の気象情報を確認し、また水位観測所で河川の状況も把握します。そして、雨量予測、流入量予測、上流域河川水位上昇等の状況により、ゲートからの放流の決定を行います。

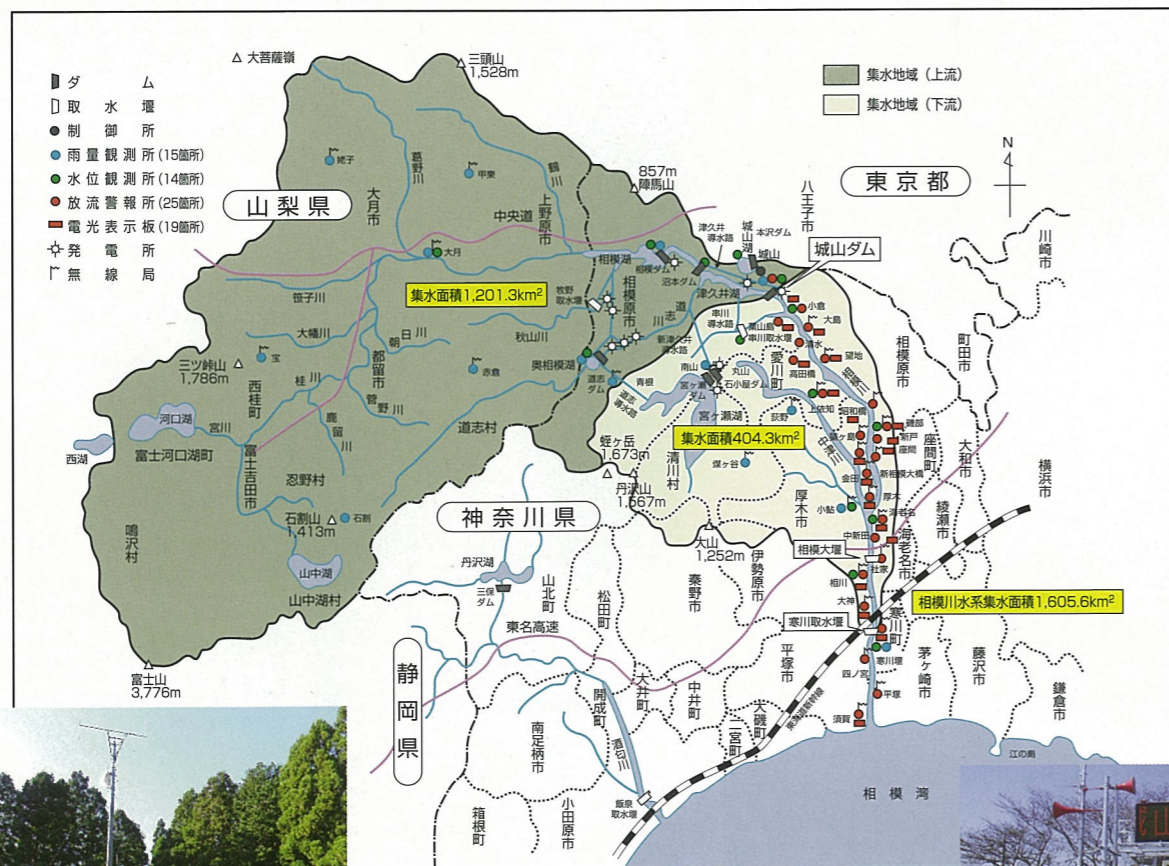
ダムのゲート放流による下流河川での被害を防止するため、ゲート放流の前には国、警察、県土木事務所等へ放流を開始することを連絡します。

さらにゲート放流の直前には、城山ダムの下流に設置された放流警報所から、サイレン吹鳴とスピーカ放送によりダムから放流することを警報します。放流開始時には城山ダム下流の警報所の回転灯、電光掲示板が一斉に点灯します。

ダム下流の各警報所が順次、サイレン吹鳴とスピーカ放送による警報を行うと同時に、2台の警報車を河口まで約5時間かけて走らせ、ダムからのゲート放流を行うこと、放流した場合、河川増水による危険があることをスピーカ放送します。また、釣り人、キャンパー等、河川に立ち入っている人に呼びかけも行います。



情報監視室



雨量観測所



放流警報所

● 施設、設備等の維持管理

ダム施設は、土木・電気・機械と多岐にわたる施設や設備で構成されています。日々の点検結果を基に、老朽化した警報装置、ゲート巻上機などの更新工事や、船舶による湖面巡視等により崩落の恐れがあると判明した湖岸の改修工事等を実施しています。

今後は、より効果的・効率的にダム施設の更新を推進するため、長期的視点に立った維持管理方針を定めたダムの長寿命化計画を策定し保全対策を実施する予定です。



津久井湖湖岸改修

● 点検等

ダムの維持管理にあたっては、定期的に点検を実施するとともに、一定規模の地震が発生した場合には臨時点検を行うなど、常にダム施設の状態を確認し安心・安全な管理に務めています。



点検の様子



ゲート巻上機の更新

発電所の維持・管理

城山ダムだけでなく、城山発電所でも日々職員によって管理が行われています。

発電総合制御所では、電気事業の経営効率化を図り、監視・制御、給電部門を集約化し、相模川水系の10発電所と早川・酒匂川水系の3発電所を合わせた全13発電所を遠隔監視制御して、効率的な運用を行っています。



発電総合制御所 監視制御室